

# 知事記者会見の概要

日 時：令和4年2月16日(水) 10:00～10:24

場 所：502会議室

出席記者：12名、テレビカメラ5台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、代表・フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 事業復活支援金の申請サポート窓口の設置について

### 代表質問

- (1) まん延防止等重点措置の延長について

### フリー質問

- (1) 代表質問に関連して
- (2) 特命補佐について
- (3) 新型コロナウイルス感染症への対応について

< 幹事社：読売・日経・YTS >

## ☆報告事項

### 知事

皆さん、おはようございます。まず、北京オリンピックについてであります。最近、日本チームのメダルラッシュに沸いておりますけれども、本県関係選手の皆さんも素晴らしい活躍をしております。先日行われたスピードスケート男子 500 メートルで、山形中央高校出身の森重航選手が 3 位となり、銅メダルを獲得されました。これは 2010 年バンクーバー大会の加藤条治選手以来の、3 大会ぶりの快挙であります。この喜びを県民の皆さんと共に分かち合いたいと思いますし、森重選手に心からお祝いを申し上げます。

本県関係選手の活躍は、県民に勇気と感動を与えくれましたし、子どもたちに夢や希望を与えてくれました。今後も競技は続きますので、引き続き応援してまいりましょう。

次に新型コロナでありますけれども、県内では 2 月 3 日に、1 日の新規感染者数が 350 人という衝撃的な人数となりましたけれども、その後は 200 人台、100 人台というように減少傾向となってきております。隣県や全国の状況を見て、まだまだ予断を許さない状況と捉えているところでありますけれども、そういう中でも、この新型コロナの感染防止対策の重要な要となるのが、やはり 3 回目のワクチン接種であると思います。私も 3 回目、打ちました。2 月 10 日に 3 回目のワクチン接種をしたところであります。県民の皆様も、接種券がお手元に届いたら、出来るだけ早く 3 回目のワクチン接種を受けてくださるようお願いをいたします。

さて、私から発表が 1 点ございます。事業復活支援金についてであります。

事業復活支援金に係る県独自の申請窓口の設置について申し上げます。この事業復活支援金につきましては、中小法人は最大 250 万円、個人事業者は最大 50 万円が支給されるなど、事業者にとってメリットが大きいものとなっております。ですが、その手続きが電子申請のみとなっておりますので、難しさを感じる方々も多いと聞いているところです。

県としましては、そうした方々にも確実に申請していただけるよう、県行政書士会と連携したサポート窓口を各総合支庁に設置することといたしました。

窓口は、来週の 2 月 21 日月曜日から開設をいたします。時間は、平日の午前 9 時から 17 時までとし、毎週火曜日と金曜日には行政書士の方を配置することとしております。それで相談から、ID 取得、事前確認、オンライン申請まで、一貫した支援を行ってまいります。パソコンやスマートフォンをお持ちでない方、あるいは商工団体、税理士、銀行等とお付き合いのない方などは、ぜひご利用いただきたいと考えております。

私からは以上であります。

## ☆代表質問

### 記者

読売新聞の吉田です。よろしくお願いします。本県に適用されているまん延防止等重点措置の期限が20日に迫っております。1日あたりの新規陽性者数が、2月の12日以降100人台に下がるなど、感染状況はやや落ち着いているかなと見受けられます。県として、政府に対して重点措置を期限通りに解除するか、延長するか、いずれを要請するお考えでしょうか。理由も併せて教えてください。

### 知事

はい、政府に対する重点措置の解除や期間延長の要請につきましては、病床使用率や重症病床使用率、新規感染者数などの指標、またクラスターの発生状況などを踏まえて、総合的に判断することとなります。本県では、今、記者さんがおっしゃいましたけれども、2月3日に過去最多となる350人の新規感染者が確認されました。が、その後は200人台、100人台というように、山谷(やまたに)はありますけれども、徐々に減少傾向にあります。人口10万人当たりの1週間の新規感染者数も、2月7日の177.06人、これをピークに減少傾向となっております。また、病床使用率は、ピーク時の45%程度から40%程度に低下しております。重症患者もいない状況でございます。

こうした状況を踏まえ、本日午後に新型コロナの危機対策本部員会議を開催し、医療専門家のご意見なども伺った上で政府に対する要請内容を協議、決定したいと考えているところです。なお、詳細につきましては、本日午後に本部員会議を開催しますので、その場でお話をいたしたいと思っております。ご理解ください。

### 記者

分かりました。ありがとうございます。知事の冒頭発言でコロナ関連なのですが、3回目のワクチンを10日に打たれたということで、1、2回目がファイザーで、3回目はモデルナを使われると先週おっしゃっていましたが、実際打たれてみての感想と申しますか、何か副反応があったとか、ファイザー製とモデルナ製で何か違いを感じたとか、そういうことがあればお聞かせいただけますか。

### 知事

はい。そうですね。1回目、2回目がファイザーで、3回目がモデルナということでありませう。実を言いますと、1回目はどうだったかなというようなことで、日記をちょっと読み返してみました。5年日記というようなものをつけておまして、大変便利ですね。それで、1回目は、5月の末だったんですけども、ちょっと患部が痛みを感じるなど書いてありまして、2回目が確か6月17日辺りだったんですけども、その時は熱が出まして寝込みました。3回目は、何かあつという間に終わったんですね。何しろ量が半分というようなこと

で聞いていましたけれども、あっという間に終わったなと思ひまして、でも痛みが出たらすぐ、具合が悪くなったらすぐ飲むよふにというお薬もいただいたわけでありふす。その日は大丈夫そうだったのですけれども、半日ちよつと経つてから、打つたところですね、そこに痛みを覚えまして、すぐ薬を1粒飲みまして、そしたらその痛みも消えました。ということと熱も出ませんでしたし、3回目が一番楽だったかなというよふな私の感想でありふす。

記者

ありがとうございます。以上です。

☆フリー質問

記者

河北新報の原口です。まん延防止等重点措置についてなのではすけれども、先ほど350人をピークに、200人台、100人台と減少傾向にあるということなのではすけれども、そうなるとまん延防止等重点措置の効果というものを、改めてどう感じているかというのを教えてもらいたいのではすが。

知事

はい。まん延防止等重点措置の内容というよりは、アナウンス効果というものが1つはあるかなと思ひています。重点措置をやるんだということと、県民の皆さんもやはりしっかりと心を引き締めてくださったのではないかと思ひております。官民一体となつて、とにかく収束、ウイルスを抑え込んで行くんだというよふな、そういう心持ちと言ひますか、そういう緊張感、そういうことに対してはやはり、ある程度効果はあるのではないかなと思ひています。

ただその内容が、やはり飲食店対策というものが主でありふすので、そこについては、もともと飲食店はクラスターは発生していないというよふなこともあるので、内容的にはどうなのかなという思ひがしております。

それで昨日の全国知事会でもそのことを申し上げました。やはり第6波はオミクロン株であつて、その特性に合った重点措置の内容に見直して頂きたいということと申し上げたところでありふす。

記者

そうしますと、知事個人のお考えとしては、このオミクロン株に対応した、即した対応策はどういったものが具体的にあるといいなと思ひますか。

知事

そうですね。昨日の全国知事会でも申し上げたのですけれども、特に本県ではつき

りしているのは、学校とか保育、また高齢者施設といったところでクラスターが発生、大半を占めておりますので、そういったところに対する検査キットをしっかりと供給していただく、そして感染防止に役立てるといったことが、やはり今考えられるところであります。

記者

朝日新聞の鷺田です。若干、話が変わります。間もなく2月議会も始まって、その後年度末だと思っておりますので、そういったところに対する検査キットをしっかりと供給していただく、そして感染防止に役立てるといったことが、やはり今考えられるところであります。

知事

はい。決まっております。というのはやはり、人事でありまして、今、予算というものはほぼ確定をして、昨日内示会ということになりましたけれども、人事は今、その最中でありまして、まだ人事を公表できるような段階にはないということであります。

記者

わかりました。他のプロパーの職員の方と比べると、ちょっと特別なポジションだと思うので、この特命補佐というのはある意味知事の一存で決められる、あるいは若松さんのご本人の意思で決められるものだと思うのですけれども、いつ頃までに去就というか、そこを決められる予定でしょうか。

知事

いつ頃までとは決まってはいたないのでございますけれども、ただ任期というのは会計年度ということになっていきますので、任期は3月末までとなっております。

記者

わかりました。ありがとうございます。

記者

共同通信、阪口です。コロナの話に戻るんですけれども、冒頭というか1問目のところで言及もありましたけれども、今回ピークに減少傾向だということもあって、第6波は、もうピークを去ったという認識、という理解でよろしいのでしょうか。

知事

そうですね、減少傾向に入っているとは捉えております。去ったかどうかというのは、断定できるかというのはちょっと本当に心配な点ではありますけれども、ただ300人台とい

うのは、もう起きないんじゃないかとは思っています。200人台から100人台ときて、たまに200人台にもなるかもしれませんが、100人台からまた2桁台へというふうにならね、移行して行ってほしいなと思うし、そうなるように、やはりクラスター発生というものをしっかり予防していく必要があるんだろうなと思っています。そして、何よりも県民の皆さん方が、まだ気を緩めないでほしいと思います。このマスク生活という基本的な感染防止対策、ここをやはり引き続き、続けていただいて、それがやはり感染防止対策の要であると思っています。

本当にこれから3月なり4月になっていくわけなのですが、経済活動というものも、また回復して行ってほしいというような思いもあります。そのためにもやはり、うつさない・うつらないといったことが大事だと思っています。

ウィズコロナというようなね、状況ではあると思いますけれども、この第6波、やはりもうちょっと新規感染を減らしていく、減少させていくというところがやはり今しっかりと取り組むべきところだなと思っています。

記者

ありがとうございます。それと、毎日発表いただいている項目には、中等症とか酸素吸入が必要な人とかというのは出てこないの、重症者しか出てこないんですけども、知事が今把握されている中で、よく言われているのは、オミクロン株は感染のピークが収束した後に重症者が増えてくるというようなことを言われていますけれども、そういう傾向は今認識されていたりするのでしょうか。

知事

はい、実は私もそのところが大変心配でありますので、連日のように打合せをしております。昨日の打合せの時にも、中等症の方はどのくらいいるのかなというようなこともお聞きしておりますし、昨日の数字ですと11人というようなことでありました。それで重症になりそうな方はいるのか聞きましたら、いせんということでありました。

中等症の方はね、6人だったのが10人台になってはきたのですが、重症化しそうではないというようなことでありますので、そういったこともしっかりと把握しながら今後のことも考えていきたいと思っています。

記者

ありがとうございます。

記者

山形新聞の田中です。コロナの関係で1点お聞きします。昨日の全国知事会でも知事が言及されたみなし陽性に関して、各自治体の判断で、統計管理上これから大変になるという

ような提言をされておられましたが、そのみなし陽性を判定する際に、いわゆる県が基準を作る際に苦勞しているところとか、もしくは全国统一すべき項目とか基準とか、こういうところを全国统一のルールとして定めたほうが、みなし陽性に関してもよりスムーズにその仕組みを活用できるのではないかと、お考えのところがあれば教えていただければと思います。

知事

はい。実は、具体的なその基準というよりは、みなし陽性を適用する、しない、そのところをね、まず大前提として、みなし陽性を全国に適用するのかもしれないのかということ、やはり政府で判断すべきだということを申し上げました。心はそこにあります。

それは、みなし陽性を適用しない県と適用する県が出てきますとバラバラになってしまうので、統計上もバラバラになってしまう部分も出てくるのかなという、ちょっとそういう危機感もありましたので、わざと申し上げたのですけれども、細かい具体的などころまでは、ここをこうすべきだというようなところまでは、私としてはまだ考えていないところであります。

県内でも、庄内地域では大変な状況になったものですから、みなし陽性を適用しているというところがあります。けれども、やはり全県的に同じようにすべきだし、全国统一ということで、やはり適用するなら全国適用するというように、していったほうがバラバラなカウントにならないのではないかなと思っています。

記者

ありがとうございます。みなし陽性に関して、今、県内では庄内ということでしたが、たしか置賜も運用を始めた。（補足：健康福祉部職員が事務的に回答。）そうですね。県内ではそうすると庄内と置賜の2か所。わかりました。ありがとうございます。

記者

さくらんぼテレビの高橋です。重点措置についてですけれども、午後に諸々の判断をされるということだと思っておりますが、今対象となっている市あと町、こういったところの要望というのは何か確認はされているのでしょうか。

知事

はい。確認と言いますか、要望をいただいたところがございます。書面だったかと思えますけれども。

電話の後に書面でいただいたと、鶴岡市さんからは、延長というような要望をいただいたと聞いております。

記者

そういうふうには要望を受けたところもあると思うんですが、それ以外のところ、もしくは今対象となっていない市町村もあると思うんですけども、おしなべて要望とか考えと  
いうのを、ヒアリングというのは特にされていないということですか。

知事

そうですね、ヒアリングというよりは、県が考える方向で、それにはやはり数値的な裏  
付けとか、また総合的な判断をするに至ったいろいろなその事情、経緯、要素がたくさん  
ありますので、それを丁寧に説明してくださいというようなことは、私から担当に申し上げ  
ております。重点措置区域のところですね。

記者

はい、ありがとうございます。